

# 地質標本館の活動とGSJ広報誌

利光 誠<sup>1)</sup>

地質標本館は、1980年8月に開館し、地質調査所（現産総研地質調査総合センター：GSJ）の調査・研究で収集され地質標本館に登録された地質標本の管理・保管、アーカイブ化、データベース化、利用支援を行い、あわせて、研究の成果を一般の方々に常設展示や特別展を通じて公開してきました。加えて、GSJの地質研究を支援する試料調製業務も行っています。そして開館30年を迎えた2010年10月に組織と業務の見直しがなされ、ボーリングコアを含むGSJの研究試料全般についての整備と管理、ならびにジオパーク、ジオネットワークつくば（写真1）、地質情報展（写真2）、地質の日事業の事務局等、GSJの主要なアウトリーチの窓口としての機能も合わせもつようになり、その役割は広がっています。

これまで、地質標本館の常設展示については、開館当初から雑誌「地質ニュース」に“地質標本館だより”として、展示を担当したGSJ職員により積極的な展示紹介がなされてきました（例えば、山田ほか、1981；小沢ほか、1991）。また、特別展示や講演会、体験学習イベントなどについても、それぞれの担当職員が「地質ニュース」に寄稿し、経緯や状況の記録、その都度考案、あるいは改良し

たノウハウの記録がなされてきました（奥山、1995；坂野ほか、2001；須藤ほか、2003；井川ほか、2006など）。地質標本館のイベント報告に限らず、GSJのアウトリーチ活動の報告の場としても「地質ニュース」は活用されてきました（例えば、地質情報展：斎藤、2000など；産総研一般公開：吉田、2006など）。このためこれらの記事は、単に記録としてだけでなく、所外の博物館の展示や各種行事の参考資料として活用されているケースも数多くあります。また、近年では大学の社会貢献が叫ばれるようになり、大学におけるアウトリーチ活動も盛んとなり、大学関係者により参考とされるケースもあるようです。展示や行事だけでなく、地質標本の登録やデータベース化に関する寄稿も「地質ニュース」にいくつかなされています（奥山ほか、2005など）。このように、地質標本館の活動全般について「地質ニュース」を通して積極的に紹介されてきました。

長年にわたりGSJの広報誌の役割を担ってきた「地質ニュース」は、残念ながら2011年3月をもって発行終了となりました。地学の普及誌は国内でもあまりなく、「地質ニュース」は全国的に名の通った雑誌であったので、この半年前に行った発行終了の告知に対して、発行終了を惜



写真1 ジオネットワークつくばサイエンスカフェの様子（2010年8月、ジオネットワークつくば事務局提供）。

1) 産総研 地質標本館

キーワード：地質標本館、地質ニュース、アウトリーチ、地質試料、広報誌



写真2 地質情報展の様子（2010年9月，地質情報展事務局提供）。

しむ声が所外からも聞こえてきました。「地質ニュース」の発行終了に伴い、私たちはその後の地質標本館の活動を、概要についてのみ「GSJ ニュースレター」で紹介するようになっています（東宮・澤田，2010 など）。このたび、「GSJ ニュースレター」を発展させる形で新たな広報誌「GSJ 地質ニュース」が創刊され、地質標本館の活動を細かくお伝えする場が復活したことは喜ばしいことと受け止めています。このような広報誌での活動紹介はアウトリーチ活動のエビデンスとなり、また、新規のアウトリーチプログラム開発にあってはオリジナリティやプライオリティの確保となりますので、地質標本館では今後は広報誌「GSJ 地質ニュース」を通して積極的に活動紹介や報告をしていくことを館員に勧めていきたいと思えます。あわせて、日本国内の地質における中核的な組織としてアウトリーチ活動のノウハウの発信をしていくことができると考えています。GSJの皆様にも地質情報展や地質標本館特別展等、種々のアウトリーチ活動に協力・参加いただき、ぜひ「GSJ 地質ニュース」への積極的な投稿をお願いいたします。

#### 文 献

坂野靖行・豊 遥秋・春名 誠・奥山（楠瀬）康子  
 (2001) 地質標本館だより No. 56. 地質標本館体験型イベント「水晶拾い」. 地質ニュース, no. 558, 63-67.

井川敏恵・利光誠一・中島 礼・兼子尚知・坂野靖行・角井朝昭・辻野 匠・野田 篤・谷田部信郎・目代邦康・新津節子・青木正博 (2006) 地質標本館だより No.77. 第16回自分で作ろう!!化石レプリカー-新生代の巻貝化石ビーカー-. 地質ニュース, no. 620, 64-67.

奥山（楠瀬）康子 (1995) 地質標本館だよりNo.38. 特別展示「兵庫県南部地震」. 地質ニュース, no.493, 65-66.

奥山康子・兼子尚知・松江千佐世・坂野靖行・利光誠一・青木正博 (2005) 地質標本データベースの現状と今後の展開-RIO-DBと標本カタログによる標本情報の公開-. 地質ニュース, no. 610, 50-60.

小沢泰子・利光誠一・佐藤喜男・尾上 亨 (1991) 地質標本館だよりNo.28 新装なった「生きている化石」展示コーナー. 地質ニュース, no. 448, 62-64.

斎藤 真 (2000) 特集 誌上再現, 中部地質情報展「20億年のタイムとラベル」. 地質ニュース, no.546, 11-15.

須藤 茂・田代 寛・谷田部信郎・新津節子 (2003) 地質標本館特別展「富士山 現在・過去・未来」の開催. 地質ニュース, no. 591, 65-70.

東宮昭彦・澤田結基 (2010) 地質標本館特別講演会「火山噴火災害の現場から」. GSJ Newsletter, no. 71, 1-2.

山田直利・今井 功・吉田 尚 (1981) 地質標本館だより 日本列島大型地質模型. 地質ニュース, no. 325, 64-65.

吉田朋弘 (2006) 産総研つくばセンター一般公開における地質分野の活動. 地質ニュース, no. 627, 6.

---

TOSHIMITSU Seiichi (2012): Activities of the Geological Museum, and GSJ public information magazine.

---

(受付：2011年9月2日)